The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	林和比古博士略歴著作目録
Author(s)	
Citation	語文. 1973, 31, p. 81-82
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/68613
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

林和比古教授著作目録

著書

現代文解釈の新研究　邦進社　昭和十七年六月
枕草子新解　邦進社　昭和二十八年一月
枕草子の研究　右文書院　昭和三十九年三月

論文

助詞ドンについて　「国語と国文学」第十四巻第九号　昭和十二年九月
記述講演体の研究　「国語と国文学」第十七巻第五号　昭和十五年五月
補助用言とその派生問題について　『橋本博士記念論集』所収　昭和十七年八月
形容動詞の語幹用法について　『現代日本語の研究』所収　昭和十七年十月
常体と敬体　「日本語」第四巻第十二号　昭和十九年十一月
文法とは何か――「切符の切らない方」をめぐって――　大阪大学「語文」第一輯　昭和二十五年十一月
連接の原理　関西大学「国文学」第三号　昭和二十六年二月
清少納言の精神機構　大阪大学「語文」第四輯　昭和二十六年十一月
清少納言の精神機構（承前）　大阪大学「語文」第六輯　昭和二十七年七月
橋本文法の特質　「国文学・解釈と鑑賞」　昭和二十七年十二月
枕草子に於ける描写文と判断文　大阪大学教養部「研究集録」第一輯　昭和二十八年三月
枕草子を読む文法――文型による解釈法――　「国文学・解釈と鑑賞」　昭和二十八年十二月
八重撫子――芭蕉文芸の虚構――　大阪大学「語文」第十三輯　昭和二十九年十一月
枕草子の章段構成について　大阪大学教養部「研究集録」第三輯　昭和三十年三月
枕草子の解釈文法　『時代別作品別解釈文法』所収　昭和三十年七月
銘文の心――裁断橋銘文異見――　大阪大学「語文」第十六輯　昭和三十年十二月
枕草子跋文考――趣意の論――　大阪大学教養部「研究集録」第四輯　昭和三十一年三月
枕草子の文体と語法　学燈社「国文学」第二巻第一号　昭和三十一年十二月
「こそ」と已然形――枕草子跋文考補遺――　大阪大学「語文」第十九輯　昭和三十二年九月
枕草子跋文考　その二――中将考――　大阪大学教養部「研究集

録」第六輯　昭和三十三年三月
形容動詞　続日本文法講座『文法各論篇』所収　昭和三十三年五月
枕草子名義の論　その一　大阪大学「語文」第二十二輯　昭和三十四年六月
枕草子物づくし段の考察　『解釈と文法』講座第三巻所収　昭和三十四年十一月
栄花物語所見の「枕草子」と「まくら」　『島田教授古稀記念国文学論集』所収　昭和三十五年三月
枕草子の名義の論　その二　大阪大学「語文」第二十四輯　昭和三十六年八月
枕草子の成立――枕草子の名義の論　その三――　大阪大学教養部「研究集録」第十輯　昭和三十七年五月
枕草子の雑纂説と類纂説の論争　「国文学・解釈と鑑賞」　昭和三十七年六月
枕草子逸興説　「国語と国文学」第三十九巻第九号　昭和三十七年九月
枕草子の構成　学燈社「国文学」　昭和四十年七月
枕草子の跋文論　「古典と近代文芸」第四号　昭和四十二年二月
蔦かづら――芭蕉文芸の一視点――　大阪大学教養部「研究集録」第十六輯　昭和四十三年三月
枕草子について　「大阪府高等学校国語研究会誌」　昭和四十三年四月
枕草子の成立と伝本　講座『日本文学の争点（中古篇）』所収　昭和四十三年十二月
枕草子「わろき物は」の段の本文批判　大阪大学教養部「研究集録」第十八輯　昭和四十五年三月
枕草子三巻本は別人改作か　「文法」　昭和四十六年二月
枕草子「あさましきもの」の本文批判　「中古文学」第七号　昭和四十六年三月
枕草子三巻本の重出段について　大阪大学「語文」第二十九輯　昭和四十六年五月
枕草子「風は」章段成立考　大阪大学教養部「研究集録」第二十輯　昭和四十七年三月
枕草子「わろきもの」詳論――三巻本は原初稿か改作稿か――　大阪大学教養部「研究集録」第二十一輯　昭和四十八年三月
枕草子「たちはたまつくり」の段について　大阪大学「語文」第三十一輯　昭和四十八年七月

書評その他

（書評）阪倉篤義氏『日本文法の話』　大阪大学「語文」第八輯　昭和二十八年三月
『国語学辞典』（国語学会編）国文法関係事項二十数項目　昭和三十年八月
『日本文学史通論』（平林治徳編）枕草子・徒然草・方丈記の項　昭和三十二年四月